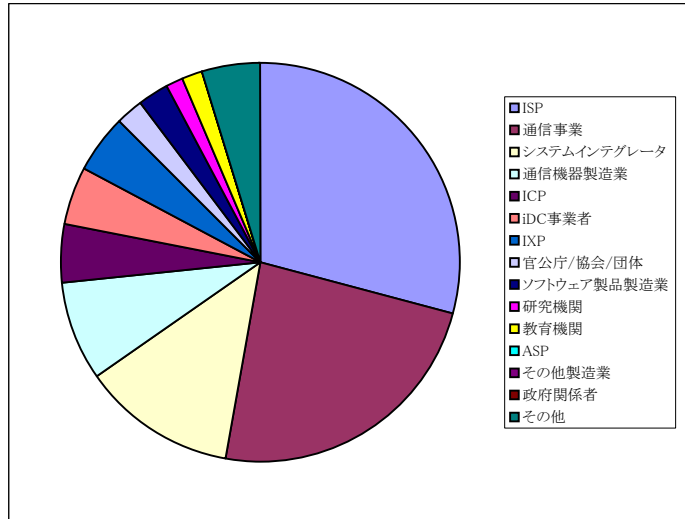


1. あなたの業種を教えてください。

ISP	37
通信事業	30
システムインテグレータ	16
通信機器製造業	10
ICP	6
iDC事業者	6
IXP	6
官公庁/協会/団体	3
ソフトウェア製品製造業	3
研究機関	2
教育機関	2
ASP	0
その他製造業	0
政府関係者	0
その他	6
計	127

その他でご記入のあった方

人材派遣業	1
電気事業	1
MSP	1

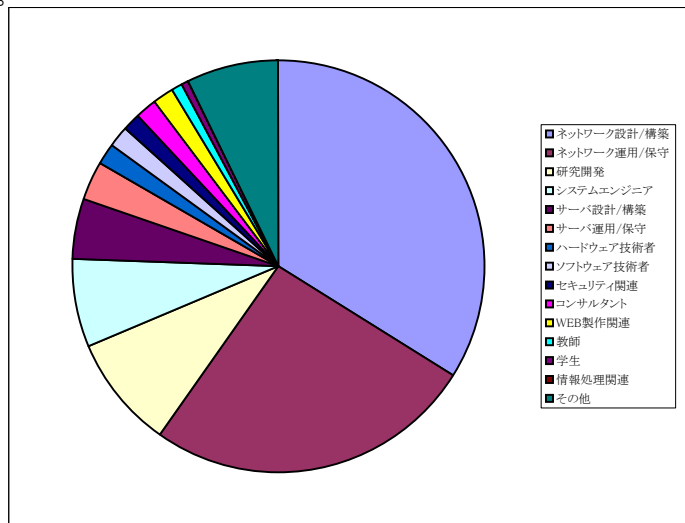


2. あなたの職種(複数の場合はもっとも当てはまるものを)教えてください。

ネットワーク設計/構築	43
ネットワーク運用/保守	33
研究開発	11
システムエンジニア	9
サーバ設計/構築	6
サーバ運用/保守	4
ハードウェア技術者	2
ソフトウェア技術者	2
セキュリティ関連	2
コンサルタント	2
WEB製作関連	2
教師	1
学生	1
情報処理関連	0
その他	9
計	127

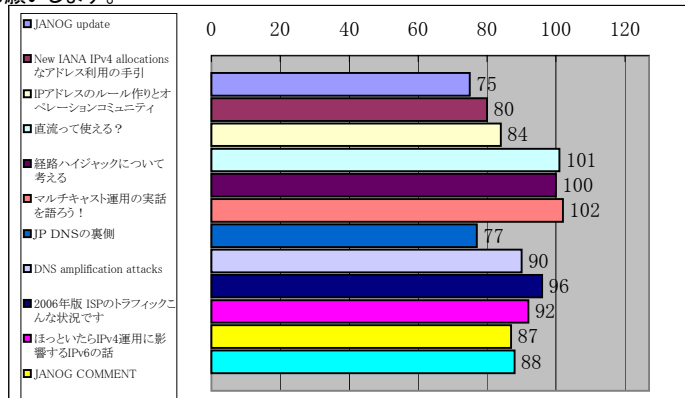
その他でご記入のあった方

事務職	1
経営戦略	1
営業職	1



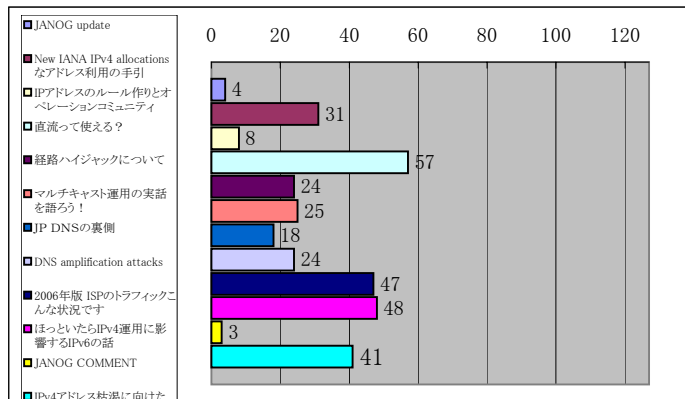
3-1. 今回のJANOG18の発表でお聞きになったもの全てにチェックをお願いします。

JANOG update	75
New IANA IPv4 allocationsなアドレス利用の手引	80
IPアドレスのルール作りとオペレーションコミュニティ	84
直流って使える？	101
経路ハイジャックについて考える ～prologue of 経路奉行～	100
マルチキャスト運用の実話を語ろう！	102
JP DNSの裏側	77
DNS amplification attacks	90
2006年版 ISPのトラフィックこんな状況です ～地域密着型アクセス系編～	96
ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話	92
JANOG COMMENT	
「xSPルータにおいて設定を推奨する フィルタの項目について(IPv6版)」	87
IPv4アドレス枯渇に向けた提言を考える	88



3-2. また、よかったプログラム(3つまで)にチェックをお願いします。

JANOG update	4
New IANA IPv4 allocationsなアドレス利用の手引	31
IPアドレスのルール作りとオペレーションコミュニティ	8
直流って使える？	57
経路ハイジャックについて考える ～prologue of 経路奉行～	24
マルチキャスト運用の実話を語ろう！	25
JP DNSの裏側	18
DNS amplification attacks	24
2006年版 ISPのトラフィックこんな状況です ～地域密着型アクセス系編～	47
ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話	48
JANOG COMMENT	
「xSPルータにおいて設定を推奨する フィルタの項目について(IPv6版)」	3
IPv4アドレス枯渇に向けた提言を考える	41



4. 今回JANOG18のプログラムのうち以下3つは自ら企画を持ち込んだプログラム委員により作り上げられました。

『直流って使える？』

『マルチキャスト運用の実話を語ろう！』

『ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話』

他のプログラムと比較して「ここが違った(良かった、悪かった、その他)」と感じられた点をお聞かせ下さい。

『直流』は議論が「今のDCでいいのか」と「DC＞ACだよな」という2つの論点に発散してはいたが、スライドだけでない議論は良かった。ただ特定の発言者が連続するのは司会者側で静止しても良かったのではないかと(この辺が初参加者には奇異に感じられたかもしれない)
発言が多かった経験を受けてよかった
『直流って使える?』電力消費の問題は HOT だし、直流を知ってという意味でも非常に面白かった。欲を言えば、“交流ではもう限界”という何らかの前提があって直流という流れが明確になっていればもっと良かったと思う。『マルチキャスト運用の実話を語ろう!』正直なところ、勉強不足からよく分かりませんでした。勉強しないと気づかされたこと、使っているところでは着実に使われてきていること、これからはネットでの放送など必要性は高まってきていることから、次回以降の janog で広がっていき面白かった。『ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話』すいません。聞けませんでした。
議論するポイントがやや拡散気味ではありましたが、その中であれこれ意見を出すことで新たなポイントが見出せたと思います。また、普段あまり意識していなかった直流/交流についてはとさせられる事もありよかったと思う。
非常に面白かったですマルチキャストは私には少し難しすぎたかも
非常に白熱した熱い議論が交わされ、まさに「これからのネットワークを創り上げていく」過程を実感することができた。
直流の話は会場をまきこんで非常に面白く感じました。後者二つに関して - マルチキャストの必要性がわからないのでテーマ自体が微妙でいた - IPv6の話に関しては、タイトルからは予想していなかった話でした。個人的にはあまり興味がもてませんでした。(windowsに特化しすぎ) 形態としては面白く感じましたが、テーマの選定がいまいちに感じました。
本音マルチキャストのは眠かった v6の話はよかった
正直、あまり違いは感じられませんでした。
マルチキャストの話は宇宙語に聞こえました。まだまだ勉強が足りませんね。。。ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話はソフト屋さんではないので難しかったです。「直流って使える?」では具体例を挙げて紹介がありとても興味深かったのですが、実際の導入については電圧を初めとして議論すべき所がたくさんあるようでした。直流専用巨大DCが出来て、そこで全て簡潔するシステムならば(スケールするならば)実現性があるように思います。大変参考になりました。
「直流」は会場全体が興味を持って聞いていたと感じましたがマルチキャストは、どうだったのでしょうか。プログラム内容のセレクトは難しいですね。
内容が身近であり非常に良かった。
問答形式による展開だった為、お話ししたい内容が明確に伝わりやすく、良かったと思います。
直流、質問が盛んで面白反面、事前にDC系の人に聞いておけば話をもっと深い方に持っていけた気がします。他のプログラムと比較してということは特に無し。マルチ:内容が難し過ぎる。事前にMLでネタふりして欲しい。アドレス枯渇の話ではMLでくどく言ったかがあったのではないのでしょうか。IPv6の話:MSの人をつれてきてくれたという点が良かった。他のプログラムに無い視点をいただけたと思います。
発表者の思いが前面に出ていて強い意志を感じられた
運用者が本当に身近で困っていることに関して、問題契機という意味で非常に良かったと思う。ペンダーとして、解決を図るように考えようと思うきっかけになった。
とにかく良かった。直流の議論の盛り上がりがすごかったし、マルチキャストは後の懇親会で盛り上がりがすごかった。IPv6についても身近なOSからの問題提起で議論の行方を見守ることができた
良かったかどうかは別にしても、議論に参加する人数は他よりも多かったかと思われる。
マルチキャスト運用の実話については、ちょっと技術的説明が多過ぎた感が。もっと議論の仕向け方があったのでは、という感あり。
あまり違いは感じられなかった。
マルチキャストの話について:実際に運用に携わる当事者(技術者)だけに的を絞って思いっきり濃い技術話に振るか、そもそもビジネスとしてどうあるべきか議論をするか、議論のスコープを明確に分けたほうが良かったと思います。IPv6の話:論点がきれいに整理されていて、深い議論が出来たと思います。
他のプログラムとの違いは特に感じませんでした
手作りと言う感じで親しみやすいプログラムだったと思う。
議論中心にプログラムが作成されており良かった。
自分の知らないねたなのが新鮮だった。
直流という「タブー」に進んで関わったのは評価できるし、知られたいな直流の情報を聞いて関心を引いた。今回の話の中で、タブーでないことも理解できたことは大きい。ここでしか聞けないと思う題材は今後とも行って欲しい。
『直流って使える?』:賛否が別れた激しい議論がおもしろかった。自社のDCにとって最適な解を検討する材料を得られた。『マルチキャスト運用の実話を語ろう!』:会場からの質問・コメントがとにかく、まだ限られた人たちのためのものかなと感じられた。
身近である話題で、議論が沸騰したと思います。もう少し時間が欲しかったところですね。
潜在的な問題を積極的に取り上げ、問題点を周知させるという点で非常に評価できるプログラムだったと思う。今回取り上げた内容の定点観測とその報告には今後も期待したい。また、他のサービス等においても、潜在的な問題は多く存在するため、今後も同様のプログラムが開催されることを希望したい。
それぞれ専門的に従事している方のプレゼンは良かったです。ただ情報収集不足な企画もあり、もう少し掘り下げて発表する必要があったのではないのでしょうか。(直流って使える?)
「直流って使える?」については、残念ながらやはり「直流は怖い」という認識を払拭できずに思った議論ができなかったのではないかと思います。従来と流れの違う話の時には、話が脱線しないような準備が200%必要なのではないかと、と実感しました。
直流であんなに盛り上がりとは思わなかった。ペンダーの実装状況が聞いてよかった
プログラムが十分に練られていて、内容が濃かった(深みがあった?)ように感じました。といっても、その他ほとんどのプログラムが、今回はかなりしっかりとっていた感じを受けましたが・・・。
2日目しか出席していませんが、特に変わりは無かったと思います。
多くの議論が見られた。
特に違いは感じられませんでした。「直流・・・」の話は、スピーカーの方がパネルディスカッション的に進めようとしていたのが、会場からの質問、意見が多く、スピーカーの意図通りに進行できなかったような気がするのと、そのように進めさせてあげたかった感じがします。内容自体はおもしろかったと思います。
面白かった。話題が上手にミートしてた気がします。＃聞きたいことと、そうでないこと 発表者の人選が思い通りになるとすばらしいものになると思う。＃今回はIETFとかぶっても、本当に欲しかった人材がひろえた? ?
multicastの話しを聞ける(語れる)場が少なかったのでもって有意義でした。
内容がより練り上げられ、情報提供面でも充実していたように思う。
直流については、さまざまな意見が飛び交って、プログラムの中でもっとも「議論」らしい時間でした。マルチキャストについては、未知の分野だったためにリスナー的な感覚になってしまいました。それはそれで、勉強しないといけない!という動機付けにはなりましたが。
ディスカッション形式が良かったと思う
現場で困っていることや、今後、困るであろう事が取り上げられていたので良かったと思います。一見関係無さそうな事が実は重大な事の発端になっている事はよくありますので、こういう企画は必要だと思います。
「直流って使える?」のプログラムで進行をさえぎって参加者が発言をされているのが少し残念でした(しかもよく聞かえないので、何を発言したのか分かりづらい)。質疑応答の部分は臨機応変にやるのも構いませんが、参加者にも多少のモラルというか、全体を考えることが必要だと思います。

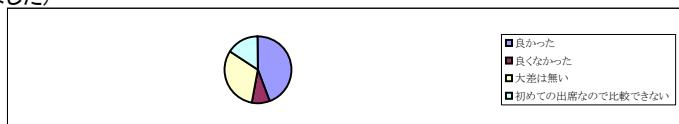
直流の件は、使えないと思っている人もお一人前にいらっしゃるか、検討段階のメンバーにいらっしゃるとよかったのではないかと思います。
議論が盛り上がっていた
ほかのプログラムより生々しい話が聞けたので◎
『マルチキャスト運用の実話を語ろう！』自身の知識不足のためもありますが、内容が非常に難しく、イメージが湧きにくかったです。でも、こういうプログラムは引き続き実施して頂きたいと思います。
一言で言うとも他のものに比べて、私にとって調度「濃い(良い)」内容で、非常に勉強になりました。テーマというより、プレゼンをされた方が濃い内容を分かりやすく説明してくれて良かったと思います。また、内容も非常に具体的でした。上記の3のチェックでも自然に3つを選んでしまいました。
他のプログラムに参加していないので比較ができませんが、マルチキャストのセッションでは、運用者の視点でのさまざまな意見が飛び交い、非常に有益だったとおもいます。
それ以外のプログラムも参加のしごたえがあり、特に遜色なかったと思う。なので、プログラムが面白い(良い)か否かは、持ち込まれる話題に依るものだったと思う。
「ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話」のみに参加したのですが、開発に携わる方から直接お話を伺えたのがとても良かったです。実感が湧きました。
思い入れ、熱意が感じられるのは良かったと思う。思い入れが強すぎて、色々な方向を探れ切れていない面もあったような気がした。でも、全体的には良かったと思う。
上記のうち、下二つ参加したのですが、現実的な話で大変参考になりました。ありがとうございます。
『直流って使える?』は、万人が参加できる話題であったのに比べ、『マルチキャスト運用の実話を語ろう!』は内容はすばらしかったと思いますが、マルチキャストの運用をやっていない人には少々細かすぎ、また難しすぎる内容で、参加者が蚊帳の外に感じるような感じでした。結果、多くの人が寝ているように見受けられました。
とてもタイムリーな話題な点がよかった。
IPv6の話は、意識の薄いOperatorにも訴えかけられたと思うので、非常に良かったですね。さすが、プログラム委員の魂を感じました。
『直流って使える?』は実際、すぐに導入検討するものではないが、聴衆は直流という新たな選択肢があたえられ、スピーカはオペレータからの指摘を持ち帰り宿題になるという、とても理想的な議論の決着が見られたと思う。『マルチキャスト運用の実話を語ろう!』は結局何が言いたかったのか分からなかった。『ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話』は『直流って使える?』と同様に、個々に問題意識を植え付け、今後どうして行ったらいいのかちゃんと考えさせ、持ち帰ることの出来た有意義なプログラムでした。
会場への問いかけが上手かったのか、議論がうまくすすんでよかった。
全体として他のプログラムの方が面白かったです。理由としてはあまり興味のある内容ではなかった、JANOGメンバーへ聞いた印象を聞きたいがためのプログラムって感じがしたからです。ただし、議論はこちらの方が面白かったかも。
「直流」は無駄な議論が多かったと感じる。「ネットワークのみなさん、こんなに「電気」の基礎知識がないのか」という印象と、「もし進めるとするならば何を考えるべきか、やるべきか」といった建設的な議論が出来なかった。残念に思う。
実際の運用に即したテーマを取り上げることができ、良い企画であったと思う。
『ほっといたらIPv4運用に影響するIPv6の話』はとても興味深いプログラムでためになった。Producer PC さんばんざい。

5. JANOG18をよりよくするため、今回新たな試みをいくつか実施しました。
以下の項目について従来のJANOGミーティングと比較していかがでしたでしょうか。
またご意見をお聞かせください。

●「プログラムの個別の時間枠を固定しない」

(今回は本会議の午前・午後の開始/終了時間のみ公開しました)

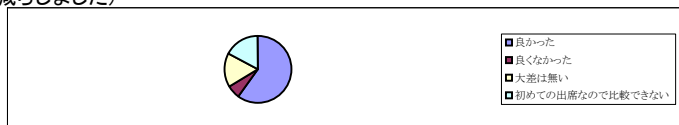
良かった	56
良くなかった	11
大差は無い	40
初めての出席なので比較できない	20



●「プログラム数のしぼり込み」

(今回は従来のJANOGミーティングと比べてプログラム数を減らしました)

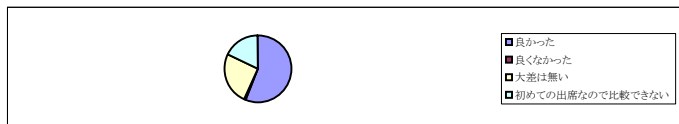
良かった	76
良くなかった	8
大差は無い	21
初めての出席なので比較できない	22



●「プログラム内容の充実さ」

(今回はプログラム公募方法の変更を行いました)

良かった	71
良くなかった	1
大差は無い	32
初めての出席なので比較できない	23



●ご意見

時間枠についてはおおむねよかったとおもうが、途中参加の場合の目安等はほしかったかもしれないです。もっとプログラム数は絞り込んでほしいと思う。(JPNICとの共催になれば、JPOPM系の話は不要になると思う)
各セッションのスタート時間が明確になっていたほうが良いと思います。スケジュールの都合もあるので、
直流電源はかなり議論百出して面白かったです
今回は、新しい janog ということで“出席”ということもあり、アンケート式の挙手する形式は良いと思った。発言できない人でも、手は上げられますし会場に来ていてる人の業種の状態も把握できました。
今回が初参加となりましたが大変面白かったです。実際に現場で活躍されている方々や普段は接点のない方々の話が聞け、自身の知識と視点が広がったと感じます。ただ仕事をしているだけでは決して得る事のない非常に多くのものを得られたと思います。今後さらに充実したミーティングになる事を期待しています。
初参加です。懇親会にも出ましたが、一人で参加しましたが正直誰と話して良いのやら、特に業務で関係している方も出ていないのでちょっと困ってしまいました。全てのセッションが終わって居れば、話すキーも2日分になっていたのかと思うと悔やまれます。これからは、可能なときは参加して顔見知りが出来れば嬉しく思います。(私ごとときレベルで、知り合いになってくれる方がいるか不安ではありますが)
時間に余裕が出来て、進行がとても良くなったと感じました。内容も充実していたと思います。
スクリーンディングしながらの形態は新鮮でしたがブレインストーミングのようになっておりイメージしていたのとは異なりました。
プログラム数が減った事により、多少寂しい感じになるかと思いますが、少なくとも2日間を過ごせました。時間配分、プログラム内容、パーフェクトです！実行委員、運営委員の方々、お疲れ様でした。
前回の東京開催以来の2度目の参加です。時間枠については、もともと朝からと午後からという単位で参加するのであまり関係無いです。絞りこみについては、個々のプログラムは面白いのですが、多様性が減った気もし、プラスとマイナスを加えて大差はないとしました。内容については以前と同じく興味深かったので大差無いです。ただ、今回は参加できた声で評価しましたが、参加できない場合は資料を読むだけになるので、その点では資料の数が多い方が嬉しいので、プログラム数は多い方がありがたいですね。
個別の件については言及しませんが、新しい試みを取り入れて変わっていきこうという姿勢はすばらしいと思います。スタッフのパワーと、コミッティの柔軟性が今後のJANOGも明るく照らしてくれることでしょ。
開催告知をする段階で、1日目の開始時間だけは、公表して欲しかった。後から告知されていても、このような時期は飛行機のチケット代が高いため、割引料金を事前に押さえている関係もあり、変更が出来なかったため、一番面白いと思われたJANOG Update等に間に合わなかった。
毎回プログラム数を絞り込むのもどうかと思いますが、数回に1回程度の割合でなら絞り込んでも良いと思います。
全体的に時間通り進んでおりよかった。
初めての参加でしたが、楽しい時間を送れました。出来れば次回も参加し、議論に加われるようにしたいと思います。
東京近辺以外で開催の場合、なかなか出席できません。ライブで中継してもらい、チャットで参加するなんてできませんかね？
ある程度話題を運営側で用意し、janog@janogで投票する、などのやり方もあると思います。投票によって絞られた内容のプロデューサを公募する、などにすると、「みんなが聞きたい」プログラムになるかもしれません。
新しい技術についての企画が乏しかったと思います。日々の疑問を解決する企画もよいですし、問題提起もよいですが、無線LANやVODなど新しいサービスを運用している方の話も聞きたかったです。
プログラム数の絞り込みはなかなかよかったと思います。従来の数だと、議論というよりは発表、報告の色が濃くなっていたと思います。是非、今後このように議論しやすいようなプログラムを期待します。
Meetingは毎回中身が濃いと思いますが、今回は特に充実していたかもしれませんが。主にISPでの運用の実態や情報(机上の話ではなく、現場の生の話)が共有できるのは、大変有意義だと思っています。
スピーカーの方の技量も大きいと思いますが、進行が円滑で、時間枠はなかったものの、統制は取れていたと思います。プログラムを絞り込んだ結果、中身は濃くなってそれはそれで良かったと思いますが、その分ジャンルが少なく(狭く)になってしまうのが残念です。自分の聞きたいジャンルばかりだったらいのですが…。
ショートアップデートよりも充実感があつた。
プログラム数が特に少ないとも感じなかったもので、絞り込んだのは良かったということだと思います。質問に立った方の話も興味深いものが多かったもので、その時間が長いのは良いことだと思います。
お疲れ様でした。会場への導線がすこしわかりにくかったです。#入場の際のスタッフの招きいれがなければ、迷ってたかも 今回みたいなのは大好きです。すごく、お金をかけずにスタッフで乗り切るってのも(お金はそれなりにかかっていると思いますが。。)
時間枠を固定しない、とは言っても、司会の方が「あと3分」「時間ですので手短に」といった形で進行していたので、「時間を固定しない」には当てはまらないと思います。
運営サイドの苦労が滲み出ているFlash等があり、改めて運営の大変さが伝わって参りました。そのうちに自分も何かお手伝いできればよいと思っています。
まず、スタッフの方々の熱意は強烈に伝わったと感じています。プログラムについて、普段 ML で全くやり取りのない直流やマルチキャストの話となると、興味、という点で考えるとしてこれら人が少ないのではないかと思います(個人的には面白かったけど)。ML で頭だしをして、議論のポイントを把握した上でミーティングで掘り下げてみる・となるともうちょっとよかったのかな？と感じました。
休憩時間が少なかった(無かった?)のと、個々のプログラムが何時までかわからなかったのはちょっと困った。
時間枠に関して、想定時間はあった方がよい。途中から参加せざるを得ない場合もあるので。
懇親会費用は経費処理出来る。税抜き5000円でしてもらえれば幸いです。
質疑応答の時間が多くてよかったと思います。また、JANOGのよさは質疑内容だとつくづく思いました。
いろいろチャレンジすることは良いことだと思います。

時間を大枠で設定するという発想は良かったのですが、プログラムごとの予定時間とかは知りたかったです。#仕事の都合で全部に出席できるとは限らないので、特に興味のあるプログラムへ参加したかったので。
議論が活発に行われたと思う。議論したいポイントだったかによりますが…
一つのプログラムでも前半、後半があるものがありましたが、そのプログラムがどのような構成なのかを事前に教えておいて頂けると良かったと思い
全体にゆったりしたスケジュールで面白い試みと思ったが、有効に機能したかは怪しいと感じる。「直流」に限らず会場からの無駄話が多いと感じる。出席者がもっと慣れることと、コーディネータのより積極的な議論のリードが必要と思う。
とても集中して発表を聞く事が出来たミーティングでした。スタッフのいろいろな配慮を感じました。人数が少なかつた中でお疲れ様でした。

6. JANOG18ミーティングについてご意見・ご感想、今後のミーティング運営を改善するためのご意見・アドバイスをお願いします

会場にネットワーク環境を準備してほしい。
JPNICとの共催など、連携を通じて新たなJANOGへ脱皮する方向性を目指す種が出てきたミーティングだった気がするので、このモチベーションを維持して欲しい。
やっぱ、テーブルは欲しいですね。
今回の受付で出席者チェックをしていないのは、非常にスムーズで良かったです。事前に情報のあった大画面も予想以上に見やすかったです。janog18 の web も力が入っていて事前のプログラム打ち合わせの状態なども分かりよかつたと思う。
ホスト様の都合もあるので設備について意見するのは心苦しいのですが、イスがもう少し良ければ……朝から座りっぱなしだと腰が痛いです。あと、机がないのでもたれられないのもつらかつたですね。メモを取るのも少し面倒でした。
こんなに、笑える カンファレンスの類は初めて参加しました。本音で話せるのが技術屋の集まりと言う感じでしょか？ ネットワークオペレータではなく、話についていけないところも多々ありますが、コアの運用はエンドにも影響を与えますし、関連する話も出ていましたし、個人的に気になる話題もいくつかあり、とてもよい勉強になりました。また参加したいと思います。
お疲れ様でした。初めて参加させて頂きましたが、とても興味深い会議だと思いました。基本的に「手打ち」というか、出来レース的なところがありなくて、皆さん本気で噛み付くのがよかつたです。要望としては、遠隔地のいくつかの場所をビデオカンファレンスで繋いでできたら最高だともいえました。沖縄はとおいです。。。 (さらにホスト様探しが困難になりそうですが…汗) 機会があれば又参加させていただきたいと思います。ありがとうございます。
今回のJANOGは今までの中で一番面白く感じました。全体的にテーマはイマイチだった気がします。
顔見知り同士の閉鎖的で敷居の高いミーティング(少し身内でくだけすぎ)というような感じを従来よりもより強く受けました。懇親会の名れも「支払い証明書」ではなくて、名刺を入れる等で本当の「名刺」として利用し、知らない人同士がより交流を深められるような場にしたい方がよいと思います。(何度とも来ているにも関わらず、顔と名前を覚えられないという個人的理由もあるんですが)
スポンサー様には申し訳ないのですが、椅子が硬く腰が痛かつたです。いつもの業務を離れてとても刺激を受けました。また参加したいと思います。
質問・コメントの際に、所属を名乗ってもらえるとどういう仕事をしているからこそその質問なのかなど背景がわかり、より理解が深まるように思います。有名人は名乗る必要は無い、というのでしょうか？初参加の人もいますし、せめて1セッションの中で1度ぐらいは名乗るのはいいかでしょうか。
夏と冬ではなく、春と秋に開催していただきたい。今日は暑すぎました。
若干脇道にそれる内容ですが、本プログラムで上がった議題が多数あったと思いますが、是非ML、次回JANOG でも継続すればいいなあと思います。特にIPv6 系はUpdate的に続けて欲しいと思います。(枯渴、vista等)
運営スタッフ、事務局、スピーカーの方に感謝します。・広報さんが作った動画ですけどスクリーンセイバーにして公開欲しいです:-) ・水で人数確認している件は先にMLに流れていたら分かりやすかつたです(ネタ用だから流せない???) ・プログラムは早めに公開いただけるとありがたいです。・沖縄にも行きたいです。
・自分のインターネットに対する考え方と異なる考え方を知ることができて大変よかつた。
・時間の管理が適切でてきぱきしてとても気持ちよかつた。
ミーティングに手作り感(notチャチ)があつてスタッフとコミュニティの距離が以前より近くなつたのかなと感じました。スタッフのみなさん大変お疲れ様でした。
地方開催は参加しづらいので、関東開催を希望しております。完全に個人的に都合なので無視して下さいませ。
おつかれさまでした。
事前に出せる情報は、どんどん告知して欲しい。
初めて出席させてもらいましたが、なかなか楽しませていただきましたし、勉強になる部分もたくさんありました。次回もできる限り出席したいと思います。ただ、限られたメンバーの内輪受けする話題(プログラムではなく、それ以外のところで)はほかの門戸を狭める可能性もあるのでどうかと。。。
・一日目午前中からのスタートは地方からの出席者はづらい。
無線がないのはなんとか我慢できるがAirHが圏外(シールド効果...)な会場はづらい。本来なら会議に集中したいところだが仕事を無視するわけにもいかないし、資料にリンクがあつても開けない。机は欲しい。
いきなり、発言を求められ、焦ってしまいました。実施に会ったこと以前、SMTPのDoSアタックが、大量にあったとき、発信元が、IANAリザーブなIPだったので、サーバ側で、まとめてフィルタしてしまいました。その後、更新しないでいたため、お客さんから特定の人からだけメールが届かないとの問い合わせをうけ修正した次第です。現在は、bogon は、フィルタしてません。
今回用意された椅子に長時間座っていると、かなり痛くなつた。コスト面で厳しいかもしれないが、なにか対策してくれと助かる。
懇親会参加者には名刺(名刺)をつけさせるようにしてほしい。多くの方が顔なじみなのかもしれませんが、新しい方が入って行きづらいです。
もっと、議論の時間を増やして欲しい。
なかなかマイクの前に立って発言するのも難しいので、例えば出席予定者全員に、事前アンケートの形などで、意見・質問、事前資料へのコメントを募るといったのはいかがでしょう？それをミーティングまでに整理するのが大変そうですが。
いつもご苦労様です。
ミーティング開催地は少なくとも東名阪開催を望みます。
関係者の方々、お疲れ様でした。今回も、とてもいい二日間でした。
やっぱりどうしても首都圏以外の開催には参加しにくいので、せめて年1回は、東京で開催してほしいです。これからも期待しています。
ネットワーク／電源の有無は事前に知りたかつたです。
東京開催のレジスト数の割には空席が目立った気がしました。東京だと短時間で会場への出入りができてしまうので仕事をどうしても入れてしまいがちになります。#たぶん、コレは避けられないと思うので 会場のレイアウト等でできるだけ途中参加の人が入りやすい環境を作ったほうがいいのかも かもしれません。#椅子の感覚を広くするとか、ブロックを多く取るとか
ミーティング全体についても言えることですが、特に懇親会がリラックスした雰囲気であつたため、普段あまり接する機械のない方々と気軽に話せることができたことがよかつたです。また、ミーティングの趣旨とは異なるのかもしれませんが、議論をした内容について、例えば課題やアクションアイテムの整理等、次になんらかのかたちで活かせるようにできるとより有益になるのではないかと思います。
今回初めて出席しましたが、随所に「仲間うち」的な雰囲気が漂っている気がします。発言している方が主要なメンバーであるのかもしれませんが、スピーカーと発言者の間の会話など、状況を良く知っている人にしかわからない雰囲気を感じられていて、そのような状況では、知らない人はなかなか入っていきえないかな、とも思います。JPNICの議論での「情報の公開によって、門戸を広げる」といった考え方は、JPNICだけでなく、JANOG自体も考えていただけたらいいかな、とも思います。いろいろ申し上げましたが、大変勉強になりました。積極的にJANOGへ関わっていきたいと思います。
初めての出席でしたが、内容はおもしろくてヘタな有料セミナーよりずっとよかつたです。ただ、常連さんはお互いよくご存じなのかもしれませんが内輪ネタがわからず、それが多くなつてくると新規参加者はつらいと思います。会社(立場)を前提とする発言は結構あつたので、原則発言の前に会社名、名前は言ってほしいです。一回言ったらその後は言わない方がほとんどでしたが、できれば毎回言ってほしいです。
スタッフのみなさん、お疲れ様でした。
スタッフのみなさんのご努力に感謝です。
もう少し頻繁に東京開催にしてもらえると助かるのですが。
懇親会に関しては、初参加の人&知り合いがいない人でもある程度はいりやすいように配慮した方がよいのでは？・スピーカーはリボンを付ける(話は聞けなかつたけれど、予習してきたことを質問したいとか)・チュータ制度?(Janog何でも相談員もいいかな^^)

プログラムの時間割確定に、時間がかかりすぎではないでしょうか。2日間のうち、どちらか1日出たいと思ってましたが、ギリギリまで決まらず、非常にイライラしました。
現地のセッティングの方のことを考えると、事前資料が数日前にしっかり上がっているのであれば今回のようにコネクティビティーは無くても良いと思いました。電源はいつも欲しいと思いますが。
JANOGの原点回帰。原点が何だったのかを振り替えるはいいことだと思う。ただ、私はJANOGの原点ではなく、オペレーターの原点にかえるような話題(プログラム)にこそ、期待したいと思い、また提供したいと思う。
電源とテーブルがあると嬉しいです
シンプルで良かったと思う。意見が入り乱れたが、それもまたmeetingぽくてよかったと思う。
聞きたい内容をヒアリングして、項目をPickupするのもいいのではないのでしょうか？
「IPv4アドレス枯渇に向けた提言を考える」は世間的にも注目があるトピックで、今後本気で検討していくべきことであるので、一番期待感を持っていた。しかし、統制のない好き勝手な議論が行なわれ、正直がっかりした。スピーカも参加者も何か成果・宿題を得られるようなプログラムを今後期待したい。
東京開催の場合は、自宅／職場から1日だけ参加する場合があるとおもうので、「technical/engineering day」「political day」のようにわけるといいかもしれません。
気合いと労力がかかっているのが大変感じられました。上のコメントで文句ばかり書いて恐縮です。スタッフのみなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。
やはり質問、コメントする人は声の大きい人というか、決まった人というか、...。ミーティング規模が(人数面でもテーマ面でも)大きくなったことが理由の一つ。テーマごとに小規模な個別会合とするべき。全体会合は最初のJANOG-updateと、最後の各会合報告のみとする。いかがでしょ？